

はばたき

平成30年

4月30日

第94号

発行者 社会福祉法人 新生会 障害者支援施設 第二新生園 鈴木 長 幸
岩手県紫波郡矢巾町大字太田 17-54 TEL(019) 697-8011 FAX(019) 697-8013



主な内容

- ◎ 発行にあたって…………… P2
- ◎ 医務室／給食室から…………… P3
- ◎ 各事業から …………… P4～5
- ◎ 委員会から…………… P6
- ◎ 行事の様子 …………… P7～8
- ◎ お知らせ…………… P8

すてきなパーティー
でののはばたき隊によ
る「よさこいソーラ
ン」です。オープニ
ングに相應しい元気
溢れる演技
でした。



ホームページも
ご覧ください！

岩手 新生会

検索



QRコード
からもご覧
いただけます

「発行にあたって」

古くて新しい課題

施設長 鈴木長幸

以前の「はばたき」(H28・3発行90号)でも触れましたが、「障害者差別解消法」(「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」平成25年6月25日公布)が施行されて2年が経過しました。この法律では、障がいのある人への「合理的配慮」(障がいのある人が社会生活を営む上で必要とする配慮を過度な均衡を逸しない範囲で提供すること)を求めています。この法律がどの程度浸透してきているかはさておき、当園にとっては普段の支援を振り返る契機となりました。この「合理的配慮」は、その先にある障がいのある方が自分で自分のことを決めることができる状況づくりのための手段と言われ、いわゆる「意思決定支援」が、平成30年度からの国の福祉関係施策に盛り込まれるようです。

これまでの、本人が決めることができないことは、親(家族)または私たち支援者が本人との関係の中で、本人にとって最もふさわしい選択や決定がなされるよう支援してきた(支援付意思決定)というのが多くの場合ではなかったでしょうか。今後はこの「古くて新しい」課題である望ましい意思決定への支援の取組みが求められ、人権意識の高まりと広がりを感じます。しかし、利用者さんを前にした時、各々への「意思決定支援」へのアプローチは難しい面があります。また、支援する側のスキルアップも課題です。理論に基づいた取組みは当然必要ですが、当園では、まずは普段の利用者さんとの関係の中で意識化を図り、可能な実践から始めることとしています。

20年度後期(10月以降)は、大きな行事や施設経営にとって重要な事項が目白押しでした。

秋の日帰り旅行は、グループに分かれ、それぞれに見合った場所、内容で実施しました。隔年の『すてきなパーティー』は「ありがとう」をテーマに、保護者会、関係の方々のご協力、賑やかに開催することができました。10月には福祉サービスマス第三者評価を受審しました。前回の結果を受け、課題の改善に取り組んで臨みましたが、施設設備の面では改善に至らなかったものもありました。評価結果はまだにいただいておりませんが、それを踏まえた課題に計画的に取り組むことを第Ⅴ期中期実行計画(平成30～32年)に位置付けました。

年明けには、通所利用者1名の成人を祝う会を行いました。前回からは3年ぶりのことでしたが、若い利用者さんがいることが園の活性化につながることを実感しました。また、この時期の心配事は感染症です。今年度はインフルエンザが例年に増して猛威をふるっています。施設の構造上、感染症への対策を行うことで、利用者さんの活動を限定的にしたり、来園される方々にご面倒をおかけしたりすることが多々あり心苦しいのですが、利用者さんの健康と安全は常に最優先と考えて対策を継続しています。

利用者さんの体調急変による救急搬送等、日々めまぐるしく対応を迫られる時期もありました。利用者さんの高齢化が様々な形となって表出する現実を直視するとともにその速さに遅れないよう対策を考えることが急務です。

今年度も多くの皆様に支えられ、年度末を迎えることができました。また、平成30年度の完成を目標とする生活介護棟の建設は、いよいよ設計、工事の段階に進んでおります。さらには、創設満30周年を迎える年にもなり、記念行事についても検討に入っています。

この紙面を皆様のもとにお届けする頃には緑の息吹盛んとなっていることでしょう。

新たな1年、皆様には変わらぬご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

医療室から

看護師
大澤 梅子

年が明け、学校が始まると共にインフルエンザ流行の状況を示す感染マップの県全体が赤色（警報レベル）一色になってしまいました。当園でも、インフルエンザAに罹患された通所利用者が散見され、保護者様やグループホーム担当者の早めの対応で感染拡大を防いでいる状態です。

そのような中でしたが、利用者さんの29年度一般健康診断を2月2日（金）に実施しました。その結果は利用者さんの健康状態を把握するための重要な情報となります。一年一年歳を重ねるうちに入所利用者さんの平均年齢がよいよ50歳になり、何かしら再検査の所見も多くなってきました。また、利用者さんの急変で病院に救急搬送されることも何度かあり、これが高齢化の兆しなのかと痛感しております。

本年度の私の目標は、病院受診を利用者さん自身の「ささやかな愉しみ」に変えることです。中には受診を外出することが出来る機会のように楽しみにされている方はいますが、やはり苦痛と感



健康診断の様子

利用者さんが多いように思われます。これまで殆どの方は診察が終わるとそのまま薬の処方を受けて薬局に寄って帰園するのみでした。そこで、利用者さんが少しでも「愉しいなあ」と思っていただけのように、診察時間が短い時でも、自分の好きな飲み物を買って飲んで息抜きをしていただく時間を設けることにしました。長時間を要する受診では一緒に昼食を食べて帰る時もあり、「また行こうネ」と笑顔で何度も話されます。看護師として健康面の管理はもちろんですが日常生活に「愉しい」時間を少しでも作ることを心がけて支援にあたっていきたいと思えます。

給食室から

管理栄養士
木村 敦子

食事の提供は安全で、安心が大前提ですが、食べる方の希望（嗜好）に沿うことも大切な観点です。そこで今年度はメニューの充実を図りました。利用者さんからの希望を組み込んだの新メニューの提供です。

夏には『冷やしラーメン』『海鮮やきそば』を、秋・冬には『とんこつラーメン』『海鮮塩ラーメン』を提供しました。ラーメン以外にも『とうもろこしだんご』『もち米しゅうまい』『納豆ネバネバ和え』も提供してみました。その感想は『おいしい』と概ね好評でしたが、中には『少ない。もっと食べたかった』と、担当にとっては嬉しいような困るような声もありました。新メニューを提供することで利用者さんとの会話が増えたり、会話ができない利用者さんとは手をタッチしたりなどのコミュニケーションが増えたりしたことは私にとっても大きな喜びです。

今年度は数年来思案してきた、給食欠食に伴う費用負担を利用者さん、保護者様方をお願いすることとなり誠に心苦しく思っております。

ます。これまで食品納入価格を大幅に見直し、食材の値上げや調理業務委託費の増額に対応してきましたが、更なる食材価格の高騰傾向もあり当園のみでの努力も限界がきております。また、日本は1人当たりの食品廃棄量が世界一と言われており経済観念上も課題と感じていました。現在提供している給食の質を確保していくためにも、「欠食届けはご利用日7日前まで」のルールに引き続きご理解くださいますようお願いいたします。

初メニュー
「海鮮塩ラーメン」



▶ とうもろこしだんご(写真右上)

各事業から 入所・生活介護

生活支援員 播摩 光一

当園では年2回、日帰り旅行を実施しており、利用者の皆さんが楽しみにしている行事の一つになっています。実施にあたっては可能な限り要望に応えるようにして

り、月初めに行われる例会の場で、皆さんに行きたい場所、やりたいことをお聞きし実施してきました。秋の日帰り旅行では、花巻方面で散策や、買い物、カラオケがしたいとの声が上がられました。下見や話し合いの結果、行先は花巻方面とし、「童話村コース」「カラオケコース」「花巻空港コース」「イトーヨーカードーコース」の4つとしました。

再度利用者さん個々にどのコースに行きたいかを写真カードを使い、選んでいただきました。どのコースにするかを考えている利用者さんの

どこに行きたいか皆で相談



どこに行きたいか皆で相談



花巻・金婚亭にて



童話村の芝生でダンス!

表情は真剣、また、笑顔や会話の中に、旅行を楽しみにしていることを改めて感じました。旅行当日は各コースとも天候に恵まれ、皆さん大変満足されておられました。今後も利用者の皆さんの要望に応える旅行にしていきたいと思えます。

各事業から 通所・生活介護

生活支援員 水本 雅昭

通所生活介護では、利用者さんの生活が少しでも豊かになるよう、日々様々な活動を提供するように努めています。散歩はできるだけ継続するようにしている他、これまでの試行錯誤から皆で楽しめるゲームのレパートリーも広がってきました。特に人気があるのはペットボトルボウリングです。ペットボトルを一度にたくさん倒すことができる、とても盛り上がりがあります。



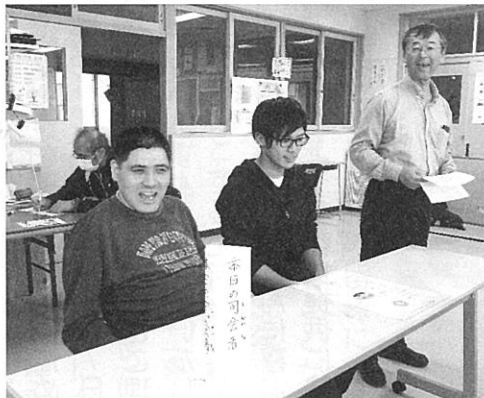
人気のペットボトルボウリング

他にもお金探しゲームや浦島太郎ゲーム等、名前を聞いただけで興味を惹かれる魅力あふれるゲームがたくさんあります。

また、月初めには例会があり、職員から大事なことを伝えるだけではなく、利用者の皆さんの意見を聴き取る機会として大切な時間



年末の大掃除



例会の司会者

となつています。数年前から、少しでも利用者主体の活動となるよう、司会は利用者さんからの立候補制としています。行事の振り返り、給食の感想、要望等できるだけ多くの利用者さんの声を聞き、それを受けて活動の内容を検討し



年末の仮装ダンスパーティ

ます。年末の利用者忘年会は、例
 会で出された意見を組み合わせた
 結果「仮装ダンスパーティ」をす
 ることになり、笑いに包まれまし
 た。
 利用者さんの意見や希望を取り
 入れてより充実した活動を提供で
 きるよう、これからも工夫してい
 きたいと思えます。

各事業から

就労継続支援B型

職業指導員 阿部 雄一

就労継続支援B型では、今年度
 も各企業様より安定して作業を頂
 戴しており、利用者さんは納期に
 間に合うよう、毎日一生懸命作業
 に取り組んでいます。一方、畑作
 業は受託作業が忙しくなった分な
 かなか手がまわりませんが、毎年
 お世話になっている地域の方々の
 協力を得ながら野菜づくりを続け
 ております。お陰様で、今年度も
 就労事業の売り上げを伸ばすこと
 ができました。

ました。12月には休日の余暇支援
 (オープン日)として、買い物や
 外食を楽しんだ後に園内にて映画
 鑑賞を行いました。プロジェクター
 を使用した大画面での鑑賞はとて
 も好評で、引き続き取り入れてい
 きたいと考
 えています。
 また年末に
 は、毎年恒
 例の忘年会
 を行い、互
 いに1年間
 の労をねぎ
 らっています。
 今後も、
 皆さんの要
 望に応えな
 がら作業及
 び余暇を提
 供し、喜ん
 で通所して
 いただける
 ように努め
 ていきたい
 と思えます。



サツマイモ収穫中

余暇支援では10月に今年度2回
 目の日帰り旅行を行い、希望が出
 された盛岡市動物公園に行ってい
 きました。小動物とのふれ合いや猿
 への餌やり体験、沢山の動物を目
 の前にして皆さん笑顔を見せてい



箱折りの作業



焼き芋はいかがですか？



忘年会は乾杯でスタート！



オープン日で映画鑑賞



青豆選別の作業

防災委員会から

生活支援員 後藤 貴俊

毎年のように福祉施設に関係する災害や事故が報道され、防災への備えは最重要課題です。これまで当園では火災や地震を想定した訓練が中心でしたが、防災委員会では、今年度、様々な状況に備えるため新たな取組みを行いました。

8月に行った「地震時の初期対応訓練」では、携帯電話やスマートホンから流れる緊急地震速報音を利用し、発生直後の自分の身を守る動作訓練（シェイクアウト訓練）を取り入れました。あの東日本大震災の時のことを振り返りながら、放送から流れる指示を聴いて机の下に潜ったり、近くにある物で頭部を護ったりする動作を行いました。9月には「豪雨による送迎時の道路寸断」を想定した図上訓練を行いました。送迎ルートを地図で見ながら、どこが安全な待機場所となるか、どのように行動すべきか等の意見交換を行い、それぞれの職員が的確に判断できるようにしておくことの重要さを再確認しました。そして1月には矢巾交番の協力を得て「不審者対応訓練」を行いました。当園で定めている不審者対応指針に沿って身の守り方や職員間の円滑な連携、防犯用具の有効な使い方等を学びました。また、これを機に、刺股（さすまた）を購入し常備しております。

今後も利用者さんが安全に過ごすことができるよう、様々な想定による訓練を継続していきたいと思っております。

“地震”が来たら まず身を守ります



利用者の目に入る場所に掲示しています



刺股を使った不審者対応訓練

リスクマネジメント委員会から

主任生活支援員 菅原 滋輝

リスクマネジメント委員会は、利用者さんが安心・安全に生活や活動をして頂くために事故に至らないよう注意を促したり対策を検討するのが役割です。

委員会では、日々の業務の中で職員から提出されたヒヤリとしたことや小事故を振り返り、対策を検討しています。今年度は、委員会メンバーで事故報告の原因を分析し、対策を周知するとともに必要なケースは各課のケア会議にまわして、確実に対策が行われるようにしています。事例には様々な要因がありますが、小さなことが大きなことに繋がりがねないという気づきの意識を持ちながら今後も「利用者さんの安心・安全」に努めていきたいと思っております。

平成29年度の各課ヒヤリハット・小事故報告件数

課	分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	計
一課 (入所)	ヒヤリハット	0	2	0	3	3	2	1	5	3	4	2	0	25
	小事故報告	23	21	21	27	30	41	21	9	17	15	9	20	254
	大事故報告	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
二課 (通所)	ヒヤリハット	3	2	1	6	8	1	0	0	1	1	4	4	31
	小事故報告	9	4	6	6	7	10	10	15	4	10	4	4	89
	大事故報告	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4

※二課には就労継続支援B型事業所も含まれます。分類項目は当園で決めているものです。



【すてきなパーティ H29. 11. 19】

二年に一度の大イベント！！園祭と交互に行われるすてきなパーティでは、滅多に見ることのできないスーツ・ドレス姿が必見です♪各課からの出し物に加え、音楽療法や金本麻里さん（知る人ぞ知る生活支援員ジャズシンガーです）のスペシャルミニライブ等盛り沢山の内容でした。



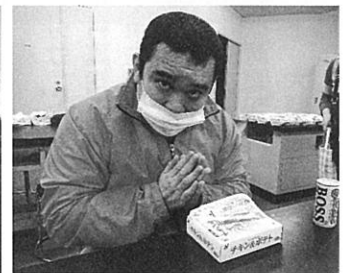
【秋の日帰り旅行 H29. 9. 26～10. 27】

秋の日帰り旅行は、各課ごとに趣向を凝らして行先を決定しました。一課は花巻方面、通所・生活介護は盛岡のこども科学館、就労Bは盛岡動物公園へそれぞれ行って来ました。あいにくの天気の日もありましたが、楽しい思い出を作ることができました。

入所・生活介護



通所・生活介護



就労 B



【お楽しみふれあい会 H29. 10. 19/12. 5】

今度は誰が来てくれたのかな？ 10月は橘若彦会の皆さまでした。大所帯での歌や舞踊はとも見応えがありました。12月は熊谷さんご夫婦による、息ぴったりの社交ダンスでした。後半には教えていただきながら一緒になって楽しく踊りました。この会は、利用者・職員そしてボランティアさんも一緒に笑顔になれる機会です。



【ふどうこども園作業交流会 H29. 11. 2】



ふどうこども園の年長さんたちが当園に来てくれました！白いハンカチを持ち寄り、ピンク・紫・青・緑と色鮮やかに染め上げました。園児さんたちには歌も披露していただき、交流会は大成功でした♪

【成人を祝う会 H30. 1. 24】

20歳になられたばかりの吉田匠さん。ご両親や母校の先生も駆けつけ皆でお祝い、めでたく社会人の仲間入りをしました。



お知らせ

平成30年度
前期の主な行事予定

4月 歓迎会

お花見会

保護者会総会

6月 春の日帰り旅行

チャグチャグ馬コ交流会

8月 まゆの里記念行事

利用者の異動

○利用終了

平成三十年三月二十日付け
西郷 裕也さん

職員の異動

○退職

平成三十年二月二十八日付け

臨時生活支援員 美濃部貴久子

平成三十年三月三十一日付け

臨時生活支援員 阿部 佳敬

○転出

平成三十年四月一日付け

主任生活支援員 川村真知子

新生園へ

管理栄養士 木村 敦子

生活支援員 山口 寛央

みちのく療育園へ

生活支援員 山下 大輔

あさあけの園へ

ありがとうございます

「ありがとうございました」

◇ご支援、お心遣い

・ライフ薬局様

・WINS本宮様

・銅屋建設様

・白石食品工業様

・矢巾町老人クラブ

・連合会女性部会様

・矢巾町連合婦人会様

◇ふれあいお楽しみ会

ボランティア

・高橋様

・熊谷様

・若彦会様

・若手医大

・学生サークル様

・ふどうこども園様

(※主なものを記載しました)

編集後記

月日の過ぎるのは早いもので、また出会いと別れの季節がやって来ました。感傷に浸る間もなく、新しい環境に慣れるのに必死な毎日です。今年度は第二新生園が30歳の誕生日を迎え、節目の年となります。皆様にとっても笑顔が多い1年となりますように。
(Y・O・K)